平成26年度 ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~KAKENHI (研究成果の社会還元・普及事業)

実 施 報 告 書

HT26038 パソコンを使ってスポーツ動作を分析してみよう!



開 催 日: 平成26年10月18日(土)

9:30-17:00

実 施 機 関 : 北翔大学・図書館2F生涯学習 (実施場所) サポート教室、多目的演習室

実施代表者 : 山本敬三

(所属・職名) (生涯スポーツ学部・准教授)

受 講 生: 高校生4名

関連 URL:

【実施内容】

【分かりやすくするために工夫した点】

受講生に研究成果を分かりやすく伝えるために、データ分析だけでなく、実際の動作計測も行って、研究の一連の流れを体験していただいた。今回のプログラムでは、ジャンプ動作やトレーニング動作をテーマとした。また、受講生に活発な活動をさせるために、動作計測の被験者は、受講生にお願いし、解説や模範プレゼンなどは、手伝い学生に依頼した。参加者が少数であったため、分析では2班に分けたグループ活動とし、各班で協力して分析作業を進めた。各班には、学生スタッフを配置し、データの見方や考え方についてアドバイスをさせた。プログラム実施に先だって、学生スタッフには一連のプログラムの流れを複数回に亘って予行演習させておいた。受講生へのアドバイスは、極力学生スタッフから行わせ、学生教育の場としても活用した。

受講生には、動作データの分析に加えて、プレゼンテーションを課し、グループ内で話し合った内容を他者へ分かりやすく伝えることも重視した。学生スタッフによる模範プレゼンテーションを実施し、分析の方向性を明確化した。

発表会では、「動作課題の専門家になったつもりで、発表するように」と促し、分かりやすい表現を心がける様、伝えた。2班とも、予想以上にPCの操作能力、分析能力が高く、期待以上のプレゼンテーションを行った。

プログラム

9:30 ~ 10:00(30分)受付

10:00 ~ 10:15 (15分) 開会式 【図書館・生涯学習サポート教室】

- · 挨拶(山本敬三)
- スタッフ紹介
- ・オリエンテーション
- ・科学研究費補助金について

10:15 ~ 12:00(105分)動作計測&分析【多目的演習室】

マーカー貼付位置(稲川祥史)

分析装置の解説&操作(志賀優規)

12:00~13:00(60分)・お昼休み

13:00 ~ 13:45 (45分)動作分析の基本【生涯学習サポート教室】

・Visual3Dの操作方法(稲川祥史)

13:45 ~ 14:00(15分)・休憩

14:00 ~ 14:15 (15分)模範プレゼン(渡部 峻)

「立ち幅跳びのバイオメカニクス」

14:15 ~ 16:00(105分)各班で分析

データ分析

プレゼン作成

16:00 ~ 16:45 (45分)発表会

16:45 ~ 17:00(15分)修了式

- アンケート記入
- · 未来博士号授与

【プログラムの実施風景】



写真1 動作分析の様子



写真2 PCをつかって動作分析の様子



写真3 分析データを実感している様子



写真4 発表会の様子

【事務局との協力体制】

事務局には、下記の業務を依頼した。綿密な協力体制のお陰で、無事にプログラムを終了することができた。

- ・企画書・業務委託契約書・実施計画書・報告書の取り纏め、発送、変更・修正等の手続き業務、各書類 の保管
- 委託費の出納管理、収支報告書の作成
- ・学術振興会への不明点・確認事項の照会業務、連絡調整
- •損害保険契約業務
- ・学内においてHP掲載依頼、学内への周知業務
- ・チラシ・ポスター・配布資料の業者発注、作成作業、高等学校への郵送物発送

【広報活動について】

大学の広報部署と連携し、近隣の高等学校に対して本事業をPRした。

大学オープンキャンパス等で、来場者に本事業をPRした。

地方新聞に募集内容を掲載した。

高大連携高校へ本事業をPRした。

【安全配慮について】

実習の安全確保のため補助者をつけた。

実習の際に、運動を行う受講者には十分なウォーミングアップとクーリングダウンを行わせた。

十分な休憩時間を確保し、身体的、心理的な負荷を減らした。

実施者・協力者・受講者全員傷害保険に加入した。

【今後の発展性と課題】

広報活動が不十分なのと、当日欠席者が出たため参加者が定員に達しなかった。次回は、より積極的に事業のPRをしたい。

受講生のPCの操作能力が予想以上に高かったため、今後は、より詳細なデータ分析を課す事も検討したい。

1日に計測、分析、プレゼンと課題も多く、休み時間を十分に取れなかった。

【実施分担者】

竹田 唯史 生涯スポーツ学部・教授

【実施協力者】 <u>3 名</u>

【事務担当者】 長堀 一之 千広 敦子

総務部総務課 課長

総務課